

計画08 住宅地・都市計画

- 1 パーソントリップ調査は、人がある目的をもって行動するとき、何の交通手段で、いつ、どこからどこまで動いたかを分類し、調査する方法である。
- 2 スマートシティは、広義では、都市が抱える諸課題に対して、情報通信技術等を活用しつつ、マネジメント(計画、整備、管理・運営等)が行われ、全体の最適化が図られる持続可能な都市又は地区をいう。
- 3 都市防災のため、災害時の避難経路や避難場所としてだけでなく、火災の延焼防止や遮断にも役立つ防火緑地帯の幅は、30m以上必要である。
- 4 都市計画法に基づく地区計画は、地区の整備・開発・保全の方針とともに地区施設の配置や建築物等の制限について、土地所有者等の全員の合意により地区整備計画を定めるものである。
- 5 ソシオペタルは、複数の人間が集まったときに、異なる方向に身体を向けて他人同士でいようとするような位置関係をいう。
- 6 「特定街区制度」は、特定の大都市地域等で共同でビルを建築する者に対し、自治体や国が補助を行う制度である。
- 7 O・ワグナーは、「ウィーン環状道路」を計画した。
- 8 市町村の都市公園の敷地面積の標準は、都市公園法施行令により、住民1人当たり10m²以上と定められている。
- 9 高蔵寺ニュータウンの住区計画は、近隣住区を単位とする段階構成を基本としている。
- 10 O・ワグナーは、「ウィーン環状道路」を計画した。
- 12 ボンエルフとは、住宅地におけるコミュニティの利用を中心として設計された歩行者専用道路で、小公園等を併設するものである。
- 13 ヒートアイランドとは、都市化の進行に伴い、都心部の気温が周辺部より高くなる現象である。
- 14 タピオラニュータウン(フィンランド)は、中央部に高層住宅等を配置し、人工池を設けたシンボリックな空間をもつ高密度のニュータウンである。
- 15 近隣住区は、学校、店舗、公園等の日常生活に必要なコミュニティ施設を備え、一般に、小学校が1校成立する程度の人口を単位としたものである。
- 16 インフィルハウジングは、クリアランス型の再開発の反省から考えられたもので、地域社会の継承等を原則として、既成市街地の街区更新を行う手法である。
- 17 「土地区画整理事業」は、土地の区画形質を変更し、土地の一部を減歩することにより、公共施設の整備を図る事業である。
- 18 「Mポート」(熊本市)は、居住者の参加によって各住戸の設計が行われたコーポラティブハウスであり、居住者の交流等を意図して共用空間を配置している。
- 19 エリアマネジメントは、地域における良好な環境や地域の価値を維持・向上させるための、住民・事業主・地権者等による主体的な取り組みのことである。
- 20 コンパクトシティは、市街地の無秩序な拡大を抑制しながら、都市地域の環境整備に重点を置き、環境的・経済的持続性を高める都市モデルである。
- 21 ル・コルビュジェは、「300万人のための現代都市」を発表した。
- 23 ハーロウニュータウン(イギリス)は、近隣住区方式の原則に基づき、明快な住区の段階構成をもつニュータウンである。
- 24 トランジットモールは、ショッピングモールの形態の一つであり、商店街から一般の自動車、公共交通機関を排除した歩行者専用の空間である。
- 25 500戸程度の住宅団地を計画する場合、小学校は、少なくとも1か所は団地内に設置する必要がある。
- 26 500戸程度の住宅団地を計画する場合、郵便局は、少なくとも1か所は団地内に設置する必要がある。
- 27 500戸程度の住宅団地を計画する場合、診療所は、少なくとも1か所は団地内に設置する必要がある。
- 28 2,000~2,500戸の新しい住宅地の計画にあたり、住宅地の周辺部の交差点近くに、商店群やショッピングセンターを配置した。
- 29 2,000~2,500戸の新しい住宅地の計画にあたり、住宅地の中央に幹線道路を通し、住宅地の活性化を図った。
- 30 「コムンシティ星田」(大阪府交野市)は、車回しのあるクルドサックと歩行者専用のフットパスが体系化されて公園につながり、二戸建て住宅がクラスターを形成しているラドバーン方式による住宅団地である。

計画08 住宅地・都市計画

- 1 ○ パーソントリップ調査は、人がある目的をもって行動するとき、何の交通手段で、いつ、どこからどこまで動いたかを分類し、調査する方法である。
- 2 ○
- 3 × 防火緑地帯の幅は、熱輻射の遮断や延焼防止を考えた場合100m以上必要とされる。
- 4 × 「土地所有者等の全員の合意により地区整備計画を定める」という記述は誤り。地区整備計画は、地区計画の方針に従い、地区施設(道路・公園・緑地等の公共空地)の配置・規模、建築物等の制限、土地利用の制限に関する事項を、区域内の利害関係者(土地所有者等)の意見聴取に基づき、原則として、市町村または都道府県によって都市計画決定される。
- 5 × ソシオベタルは、複数の人間が集まった時に、知らないもの同士が異なる方向に顔を向けている状態をいう。記述は、ソシオフーガルである。
- 6 × 特定街区制度は、建築物の高さ、容積率などを都市計画において定める制度で、良好な市街地の形成をはかるものである。
- 7 × オットーワグナーの代表作には、ウィーンの郵便貯金局やカールスプラッツ駅があるが、ウィーン環状道路は設計競技により採用されたL. フェルスターの計画に基づいたものである。
- 8 ○ 市町村の都市公園の敷地面積の標準は、都市公園法施行令第1条により、住民1人当たり10m²以上と定められている。
- 9 × 高蔵寺ニュータウンは近隣住区理論によらず、中心部に施設を集中させた単一センター方式で計画された。
- 10 × オットーワグナーの代表作には、ウィーンの郵便貯金局やカールスプラッツ駅があるが、ウィーン環状道路は設計競技により採用されたL. フェルスターの計画に基づいたものである。
- 12 × ボンエルフは、1970年代初期にオランダのデルフト市で採用された、自動車を低速化させる道路の工夫を用いて、歩行者と自動車の共存をはかる道路計画である。
- 13 ○ ヒートアイランド現象は、都市での地表付近の気温が、周辺の地域より高い現象をいい、コンクリート建築物やアスファルト道路の増加と深い関係がある。
- 14 × タビオラニュータウン(1952～1962)は3つの近隣住区から成る、グリーンベルトで分離された田園的な風景を持つニュータウンである。
- 15 ○ 、近隣住区は、学校、店舗、公園等の日常生活に必要なコミュニティ施設を備え、一般に、小学校が1校成立する程度の人口を単位としたものである。
- 16 ○ インフィルハウジングは、クリアランス型の再開発の反省から考えられたもので、地域社会の継承等を原則として、既成市街地の街区更新を行う手法である。
- 17 ○ 「土地区画整理事業」は、土地の区画形質を変更し、土地の一部を減歩することにより、公共施設の整備を図る事業である。
- 18 ○ 「Mポート」(熊本市)は、居住者の参加によって各住戸の設計が行われたコーポラティブハウスであり、居住者の交流等を意図して共用空間を配置している。
- 19 ○ エリアマネジメントは、地域における良好な環境や地域の価値を維持・向上させるための、住民・事業主・地権者等による主体的な取組みのことである。
- 20 ○ コンパクトシティは、市街地の無秩序な拡大を抑制しながら、都市地域の環境整備に重点を置き、環境的・経済的持続性を高める都市モデルである。
- 21 ○ ル・コルビュジェは、1922年に「300万人のための現代都市」を発表した。
- 23 ○ ハーロウニュータウン(イギリス)は、近隣住区方式の原則に基づき、明快な住区の段階構成をもつニュータウンである。
- 24 × トランジットモールは、一般車の通行を禁止し、公共交通機関であるバスや路面電車のみが通行できる歩行者優先の街路である。
- 25 × 小学校は、一般に2000～2500戸に1ヶ所を計画する。
- 26 × 郵便局は、一般に4000～5000戸に1ヶ所を計画する。
- 27 ○ 診療所は、500戸程度の住宅団地には、少なくとも1か所は団地内に必要である。
- 28 ○ 2000～2500戸の住宅地は近隣住区というが、商店群やショッピングセンターは、商品の搬入や近隣からの利用を考慮し、近隣住区の周辺部の交差点近くに配置する。
- 29 × 交通量の多い幹線道路は、住宅地内にはできるだけ設けない方がよい。2000～2500戸の住宅地は近隣住区といい、近隣住区が数個集まったものを住区郡というが、この住区郡の中央に、近隣住区を貫かないよう幹線道路を計画する。
- 30 × 「コモンシティ星田」(大阪府交野市)は、1戸建の集合住宅団地である。